



我孫子市景観情報リーフレット 第1号

花と緑のまちづくり

表紙 ^{おかほっと} 岡発戸・^{いちぶ} 都部の谷津

我孫子ゴルフ倶楽部と湖北台の住宅地に挟まれた、市内最大の谷津です。豊かで広大な自然が残されており、かつての水田形態や斜面林が保たれているため、貴重な生物が多く生息しています。夏はホタル、秋には木や竹で組んだ柵に稲を干す「おだかけ」の様子を見られ、四季折々の姿を楽しむことができます。

市では、農業者、市民、行政の協働事業として、昭和30年頃まで見られた生物多様性豊かな原風景の復活を目指す「谷津ミュージアム事業」を進めています。「我孫子市岡発戸・都部 谷津ミュージアムの会」が中心となって、定期的な管理を行っているため、散策しやすくなっています。市民の応募をもとに選定したハケの道八景、斜面林・田園八景にも選定され、是非多くの方々に訪れていただきたいスポットです。

まちなみ探訪① 千葉県佐倉市

生垣に囲まれたまちづくり

千葉県佐倉市染井野町にある「佐倉そめい野」は、ブロック塀がほとんど見当たりません。生垣が街路ごとに種類が統一され、生垣と歩道の間に50cmほどの植栽帯が設けられて、低い植物が植えられており、緑に囲まれた風景を創り出しています。
(千葉街並み景観賞受賞)

景観アドバイザーから

新しい住宅地には最初からこのような街のデザインができます。既存の街でも壁面緑化やフェンスの緑化、個々の住宅の小さなスペースにちょっとした緑の潤い創りができれば、連続性のある緑に囲まれたまちを築ききっかけになると思います。



2013年「緑のカーテンコンテスト」公共施設部門 入賞
①最優秀賞受賞の我孫子第三小学校の緑のカーテン
②優秀賞受賞の我孫子中学校の緑のカーテン③優秀賞受賞の議会事務局の緑のカーテン

エコ生活を始めよう

第1回 緑のカーテン

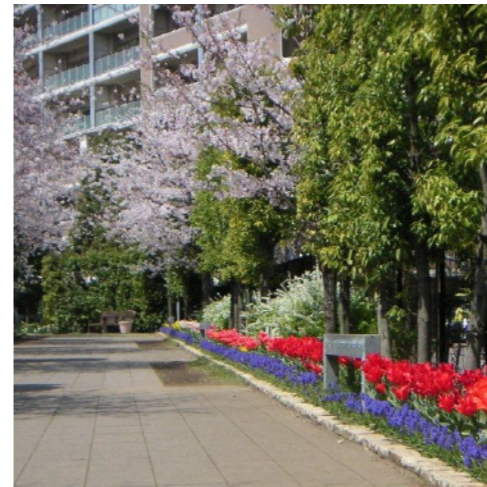
緑のカーテンとは、ヘチマやゴーヤなどのツル性植物で日の当たる窓や壁を覆う節電対策です。日差しを遮り、葉の蒸散作用により周囲の温度を下げるため、室内には涼しい風が流れこみ、温度上昇を抑えることができます。また、見た目にも潤いを感じることができます。

市は2009年から市内公共施設を対象とした「緑のカーテンコンテスト」を実施しており、2012年からは市地球温暖化防止推進協議会（エコライフあびこ）でも、一般市民部門や企業団体部門を設けて実施しています。

作り方は、インターネット上でいろいろ紹介されていたり、時期になればホームセンターに栽培セットが並んでいたり、緑のカーテンはより身近なものになってきています。

今年の夏、皆さんも緑のカーテンで涼しさを感じてみてはいかがでしょうか。

INFORMATION



あびバス景観散策マップ（船戸・台田ルート）を、我孫子の景観を育てる会と共同で作成しました。あびバスのルート周辺の我孫子の隠れた景観ポイントを見つけながら、近いけれどもなかなか普段歩かない道を散策してみてもはいかがでしょうか。
アビシルベ、アビスタ、各近隣センター等で配布しています。（上写真・シティア・マーケットストリート）
【問】都市計画課景観推進室
内線574

3月31日（月）に、我孫子ゴルフ倶楽部で第11回市民観桜会が開催されます。ゴルフをしない方でも名門ゴルフ場のフェアウェイに沿った松の緑と桜の薄桃色のコントラストが楽しめるチャンスです。
午前10時から午後4時（入場午後3時まで）。駐車場は五本松運動広場駐車場を利用。入り口は五本松公園向かい側特設入口。場内では喫煙、飲食、ペット持ち込み、球技は禁止。運動靴着用。
【問】我孫子の景観を育てる会
090-6034-9149

我孫子のいろいろ八景発表会コンサートを2月22日に開催し、まちなみ八景、ハケの道八景、斜面林・田園八景が決定しました。（上写真・布佐下の小径（ハケの道八景））
八景を紹介した「我孫子のいろいろ八景見聞録りく其の二」は、アビシルベで配布しています。また、アビスタ、各近隣センター等の市内各公共施設に閲覧用を配置しています。市ホームページからもダウンロードいただけます。
【問】都市計画課景観推進室
内線574

このリーフレットは、身近なまちなみから我孫子の景観の向上を図っていくことを目的に、市内における景観に関する取組みやトピックスの紹介とともに、景観アドバイザーの監修のもと、ご自宅のガーデンニングに取り入れていただける手法を紹介する内容となっています。

発行 我孫子市都市計画課景観推進室
〒270-1143 我孫子市我孫子1858
TEL 04-7185-1111
協力 我孫子市景観アドバイザー 関 基治



創り出そう

みどりの多いまちなみ景観

個性溢れる沿道の小空間

世界一小さなチョウチョ園

■寿地区 菅野邸 (第六回景観奨励賞受賞)



三角形の鋭角の敷地の住宅と道路のわずかな隙間を利用して、いろいろな植物が住宅を囲っています。

世界一小さなチョウチョ園としてメディアにも度々取り上げられる菅野邸は、チョウチョの幼虫やサナギが飼育されている出窓に注目が集まりますが、住宅と道路の僅かな隙間を利用していろいろな植物が植えられている沿道景観としても魅力的です。

「花をいっぱいにするのが目的ではなく、多くのチョウを呼び寄せるために花を植えている。」と菅野さんは話します。玄関周りはチョウの蜜源の花が中心で、その他の建物を囲う緑も、全て蜜源の花や、幼虫のエサになる草木だそうです。

チョウを育てる楽しみを地域と共有しながら、生きものとの共存を伝えているこの一角は、子ども達の笑顔に囲まれた、魅力的な個性ある沿道空間でした。



あおむしの飾り物。ちょうちょの卵がつきやすいものを選んで置いています。



チョウの幼虫やサナギが飼育されている出窓。奥には、カラフルなあおむしくんの鉄琴があります。

エントランスの美しい

ストリートガーデン

■白山地区 大西邸



きめ細やかな植え替えや手入れにより創られた気持ちの良いエントランス。

白山にある大西さんのお宅は樹木とグラウンドカバープランツをバランスよく配置し、門回り、塀や玄関前に置かれた鉢の草花はよく手入れされていて、美しいみどりの風景を創り出しています。

当初は建物と同時に、アイディアを造園会社に依頼して工事をしたそうですが、10年経過した状態では、当初から育っていくもの、うまく育たないものがあり、きめ細かな植え替えや手入れによって創り上げられています。また、玄関前の鉢はデザインが統一されており、すっきりとした印象を受けると同時に、花の個性が引き立って見えます。

試行錯誤のなかで、棲み分けのバランスが美しく見える状態になっていて、御主人の愛情が感じられる気持ちのいい沿道空間となっています。



デザインが統一された鉢



芝とタマリユウによって、無機質になりがちな駐車場を修景しています。脇にはヘデラも。

コツコツと作りあげた「園芸力」

菅野さんの「世界一小さなチョウチョ園」と子ども向け雑誌にも掲載されたストリートガーデンですが、チョウの幼虫を育てるといふコンセプトで細い三角形の空間が見事にみどりの楽しい景観として創られていて驚きました。小さな庭園グッズもチョウに関係するものを集められて、一年中楽しめます。小さな庭園には、多くのチョウを呼び寄せるには、いろいろな種類を植える必要があります。適当に植えれば、雑多なお庭になりがちですが、花やアートを取り入れて、素敵な沿道の生きもの博物館になっています。我孫子駅から旧村川別荘を訪ねる道路の付近です。皆さんも楽しんでいかがでしょうか。

大西さんのお宅の植物が生き生きとしているのは、日ごろの植物を楽しみ観察の賜物だと思います。管理はあまりしていませんと謙遜されていますが、その植えた場所によって、日当たり、土壌水分など微妙に違っているものです。苗木を植えて大きく育てたり、この環境に合うか合わないかなどを見極めた結果だと思えます。

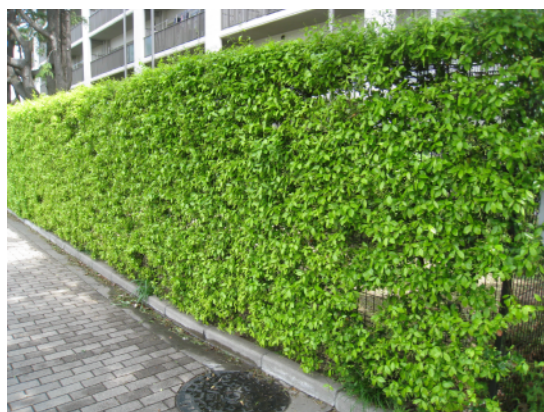
今回訪問したストリートガーデンは、コツコツと創りあげた「園芸力」が美しく見せるコツではないかと思いました。

フェンス緑化のすすめ

生垣や植え込みのある住宅が連続するなか、駐車場や未利用地の敷地がフェンスで囲まれている光景をよく見かけます。フェンスにツル植物を這わせると、通行する人たちにも心地よい風景をつくりだすことができます。

ツル植物にもいろいろな特性や変化がありますので、その土地の日当たりや日陰を生かしたものを選定して植えてみてはいかがでしょうか。

フェンスには、見通せるという防犯効果がありますが、一定の高さで剪定や管理をすれば、美しい景観を演出することができます。品種に適した土壌改良などは必要ですが、植え付け後に活着すれば、つる切りなどは素人にもできますし、管理費用も余り掛かりません。用途や植物の好みに応じて「フェンスの緑化」はいかがでしょうか。



フェンスに植えたテイカカズラ。一見生垣のようです。

テイカカズラ

街で見かけるストリートガーデニングの楽しみ



オオイタビ

究極の壁面緑化

船戸1丁目にお住まいの木村さんのお宅は、コンクリート面に小さな可愛らしい小さな葉がびっしり貼りついており、緑の彫刻のようになっています。

この植物はクワ科の「ヒメイタビ」です。もともと暖地系の植物ですが、温暖化に伴い我孫子でも十分育ちます。ここにお住まいの木村さんにお聞きしたところ、25年前に3本の苗木を植え、今では写真のようにコンクリートの擁壁や階段の周りを覆っています。苗木は「プミラ」という園芸名もあり、ネットで検索すれば通販で購入することができます。また、6月頃に挿し木で増やすこともできます。

ガーデンシティとして有名なシンガポールでは、道路の橋脚や歩道橋がこの仲間の植物で覆われていて、緑の都市にふさわしい景観を演出しています。



エントランスを彩るコンテナガーデン
白山2丁目にお住まいの石川さんのお宅は、エントランスの表情づくりにコンテナ(鉢植え)を活用しています。コンテナは、手軽に園芸店で購入でき、移動も容易で、配置デザインによって簡単に模様替えができ、コンクリート舗装の上でも楽しい雰囲気をつくれます。
また、植物の種類によって、土壌や消毒、水やりなどを変えることができます。美しく見せるポイントとしては、鉢の形状や材質、デザインや色などを揃え、手前に低い草花、奥に高めの低木を配するなど、工夫によって雰囲気違って見えます。
季節によって表情を変えるエントランスの植物たちが、行き交う人の目を楽しませてくれることでしょう。



関 基治
我孫子市景観アドバイザー
グリーンワークス主宰
多くの緑化計画に携わる。